



# 普及センター

# もりのおか



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりのおか

検索

第135号平成25年8月26日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739

## ハクビシン対策として電牧を設置！！

8月6日、初心者の研修も兼ねて紫波町佐比内のぶどう畑に電気牧柵を設置しました。管内の果樹園ではここ数年、特にハクビシンの被害が目立ってきていたことから本格的な対策が必要となっており今回、園地全周に地際から30~40cmにネット、その上に2段の電線という電牧を巡らせました。



電気牧柵設置の様子

ハクビシンの鼻先に約8000ボルトの電撃を与えて園地への侵入を防ぐとして、今後その効果を検証していきます。



設置した電気牧柵



## 大雨・強風の中の見回りはキケンです！！

9月以降は台風の上陸数が増加します。大雨・強風の中、ほ場の見回りに行くのは大変危険です！ほ場の見回りは大雨・強風が治まってからにしましょう。

大雨等が治まった後も、増水した水路など危険な場所には近づかないようにし、転落・滑落事故に合わないよう、慎重に行動しましょう！

# 「技術実証って、つまりはどんなことをするの？」

前は「ピーマン（パプリカ）で天敵利用によるハダニ・アザミウマ類防除効果の検討」について紹介しました。普及センターが技術実証としてどのようなことを行っているかわかっていたでしょうか？

今回は花きの実証圃の中から「小ぎく半身萎凋病の発生軽減対策（クロルピクリン錠剤による土壌消毒効果）の実証」について紹介します！



## 背景

小ぎくの連作障害による枯れ上がり症状

⇒土壌病害や生育不良（半身萎凋病）

⇒下葉の枯れ上がりと株の萎れにより、反収の減少につながる

そこで!!

土壌消毒による効果が高いとされているが、株が感染している場合、土壌消毒のみでは効果がない可能性も。



## 目的

今回は無病徴苗を入手し、土壌消毒による枯れ上がり被害軽減効果を実証する！

## 土壌消毒のやり方！

○使用する土壌消毒剤：クロルピクリン錠剤

○使用方法

圃場全体に 30 cm×30 cm 当たり 1 錠のクロルピクリン錠剤を地表面に均一に散布し、錠剤がマルチの外に出ないようにゆっくりとマルチャーでマルチを張る。

〈注意点〉

- ・ 消毒は発生するガスによって行われるため1ヶ月程度は必ず被覆すること。
- ・ 必ずガスが抜けきったことを確認してから定植すること。



既に発病している圃場で、枯れ上がり被害を確実に軽減するためには以下の3点を確実に行って下さい！

- ①親株自体も保菌していないものを使用すること
- ②親株ふせ込み用ハウスも土壌消毒を行うこと
- ③本畑の土壌消毒を行うこと

土壌消毒技術の導入によって枯れ上がり被害の軽減を目指しています！！

